

テレビ操作ガイド

パソコンでテレビを楽しもう

お使いになるうえでのご注意	2
このマニュアルの表記について	4
1. 準備する.....	6
2. テレビ番組を見る	14
3. 番組表を使う	20
4. テレビ番組を録画する.....	22
5. 録画した番組を再生する	32
6. 録画番組をメディアに書き出す／再生する	33
7. 困ったときのQ&A.....	41
付録	52
索引	63

お使いになるうえでのご注意

● 大切な映像や音声の録画・録音・編集について

- 大切な映像や音声の録画・録音・編集を行う場合は、事前に別の映像などを用いて、試し録画・録音・編集をし、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびメディアを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 著作権保護のため、録画した番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。パソコンやテレビチューナーなどの故障により交換が必要となった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。

万一録画番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。

ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

● 停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画番組が損なわれたりすることがあります。大切な録画番組は、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やメディアへの書き出し中に停電などが起こると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

● 著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル(有償・無償を問わず)、販売することは法律により禁止されています。

● 本製品におけるMPEG-4ライセンスについて

本製品は、MPEG-4ビジュアル規格特許ライセンスを管理するMPEG LA LLCから弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4ビジュアル規格に準拠した状態で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

● 本製品の次のアプリは移動・削除しないでください。テレビ機能が正常に動作しなくなります。

- DigitalTVbox
- PowerUtility – スケジュール機能
- Digital Media Server設定ツール
- 富士通拡張機能ユーティリティ
- リモコンマネージャー

テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- 「DigitalTVbox」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」や「WinDVD」など他のアプリやスクリーンセーバーが動作していると、音声途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- Windowsの終了・シャットダウン・再起動をする場合や、スリープや休止状態にする場合は、**終了** を押して「DigitalTVbox」を終了してください。
- 2番組同時録画中は、録画中のどちらかの番組または録画済みの番組しか視聴できません。
- DVDに書き出すときの画質がXP、SP、LP、ぴったりの場合、デジタル放送の5.1チャンネル音声は、2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。それ以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。設定は次の手順で行ってください。
 1. **田** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
 4. 設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にします。

その他の注意

- 画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定し直してください。
ご購入時の設定については、**田** 『取扱説明書<活用ガイド>』の「使いこなすために」—「ディスプレイ」を確認してください。
 1. **田** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「デスクトップのカスタマイズ」▶「ディスプレイ」▶「ディスプレイの設定の変更」▶「ディスプレイの詳細設定」をクリックして設定を行ってください。
- ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクの読み書き速度が低下します。定期的にデフラグを実行することにより、ファイルの断片化を解消できます。デフラグは次の手順で行ってください。
 1. **田** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「ドライブのデフラグと最適化」をクリックすると、ディスクデフラグを実行するウィンドウが表示されます。

重要

SSD（フラッシュメモリディスク）をお使いの場合は、ドライブのデフラグは行わないでください。






このマニュアルの表記について

● 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

● 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
	富士通アドバイザーで見るマニュアルを表しています。 参照方法は  『取扱説明書<スタートガイド>』をご覧ください。

● 製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10	Windows
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Corel® WinDVD®	WinDVD
ワイヤレスTV (StationTV®)	StationTV
インテル® Celeron®	インテル Celeron

● 操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンを使った操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。また、一部マウスでの操作が必要な項目については、その旨を記載しています。

リモコンでの操作	マウスでの操作
<◇> で「確定」を選択し、  を押します	「確定」をクリックします

- このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
- なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

●B-CASカードについて

- 本書では、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについては、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、B-CASカードが破損したり汚れたりした場合は、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- （株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）カスタマーセンター
電話番号：0570-000-261 [IP電話の場合 045-680-2868]
受付時間：10：00～20：00（年中無休）

● デジタル放送に関する情報

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会（略称：A-PAB）（2016年11月現在）

<http://www.apab.or.jp/>

- 地デジ 放送エリアの目安
- BSデジタル放送の情報
- コピー制御とダビング10について
- テレビ放送に関するお問い合わせ

● 商標および著作権について

Intel、インテル、Celeron は、アメリカ合衆国および/ またはその他の国におけるIntel Corporation の商標です。

Corel、Corel/バルーンロゴ、WinDVDは、カナダ、アメリカ合衆国および/ またはその他の国のCorel Corporation および/ またはその関連会社の商標または登録商標です。

StationTV、およびワイヤレスTV（StationTV®）は日本国における株式会社ピクセラの登録商標です。

SeeQVault および SeeQVault ロゴは、NSM Initiatives LLC の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。


その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2016-2017

1

準備する

『取扱説明書<スタートガイド>』をご覧ください。パソコンのセットアップを終えてからお読みください。


miniB-CASカードをセットする

- miniB-CASカードが貼り付けられている台紙の説明をよくお読みください。
- miniB-CASカードをパソコン本体に正しくセットしないと、テレビを視聴できません。

1 パソコンおよび接続されている機器のすべての電源を切り、パソコンの電源プラグをコンセントから抜きます。

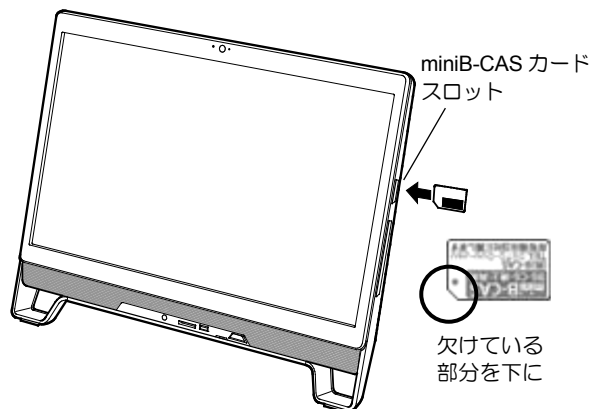
2 miniB-CASカードをminiB-CASカードスロットにセットします。

カードの角が欠けている部分から、まっすぐに奥までしっかりとセットします。

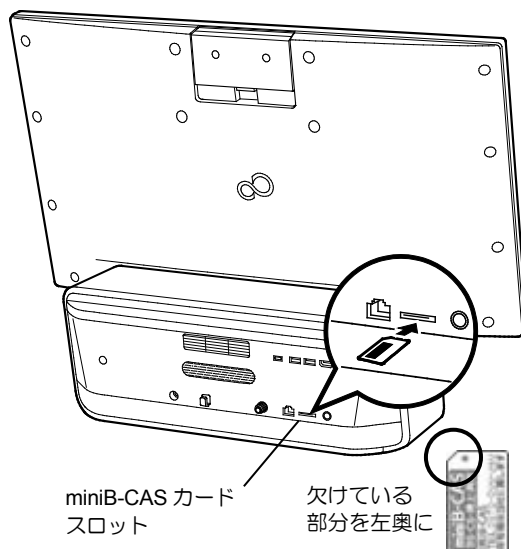
miniB-CASカードスロットの位置は、機種により異なります。詳しくは、『取扱説明書<スタートガイド>』の「各部の名称について」をご覧ください。

重要

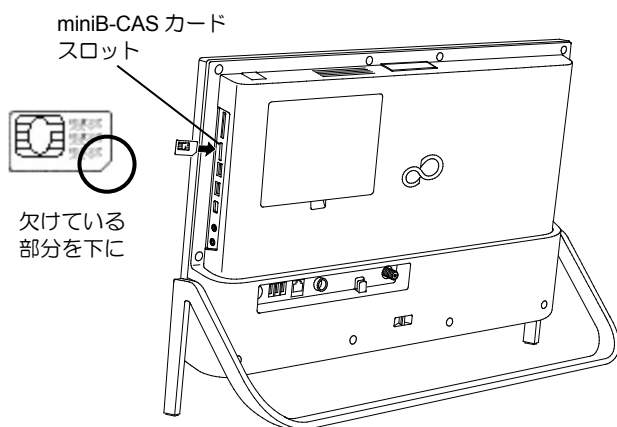
- miniB-CASカードは、お子様の手の届かないところに置いてください。誤って飲み込むと窒息の原因になります。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



FHシリーズ (23型ワイド)



FHシリーズ (27型ワイド)

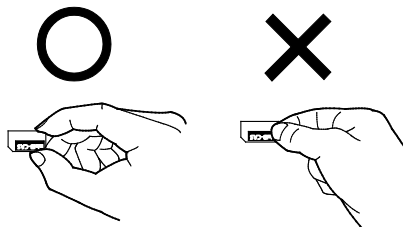


FHシリーズ (23.8型ワイド)

Point

- miniB-CASカードスロットには、付属のminiB-CASカード以外を挿入しないでください。

miniB-CASカードは、右図の○のように持ってください。×のように持つと、まっすぐに挿入できず、破損や故障の原因となることがあります。



- miniB-CASカードを取り外す

通常は取り外す必要はありません。修理を依頼される場合などに取り外します。

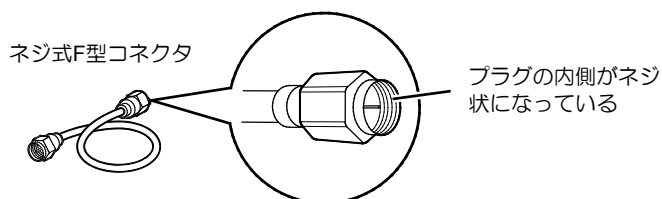
1. パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. miniB-CASカードを一度押しすとカードが少し飛び出します。
3. 飛び出したminiB-CASカードを引き抜きます。

アンテナケーブルを接続する

必ず用意するもの

■アンテナケーブル（別売）

本パソコンには、アンテナケーブルを添付していません。別途ご購入ください。



アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。

なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要 ネジ式でないF型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合

- コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
- ネジ式でないF型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べてノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。


必要に応じて用意するもの

■分配器、混合器など（別売）


アンテナの設置状況や電波の受信状況などにより、これらの機器が必要になる場合があります。「付録 アンテナケーブルの接続方法」(→P.61)をご覧ください。

パソコンにアンテナケーブルを接続する

アンテナケーブルの準備ができたなら、パソコン本体のアンテナ入力端子に接続します。


アンテナ入力端子の位置は、機種により異なります。アンテナ入力端子の位置は、『取扱説明書<スタートガイド>』の「各部の名称について」をご覧ください。

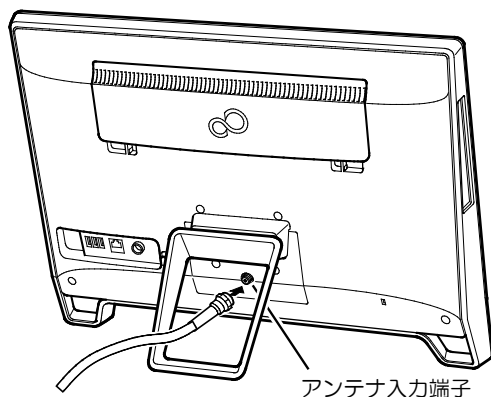
警告

-  雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

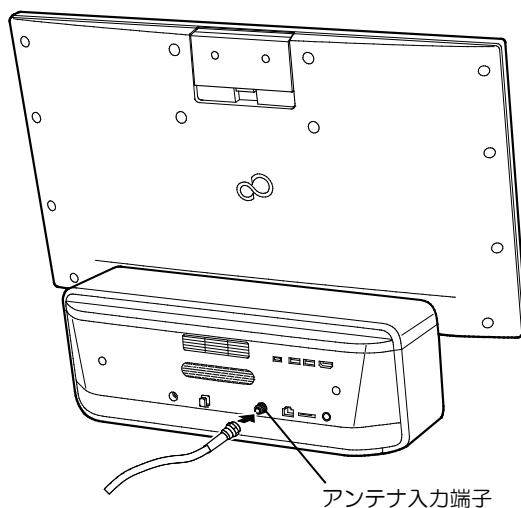
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

重要**アンテナケーブルを接続するときの注意**

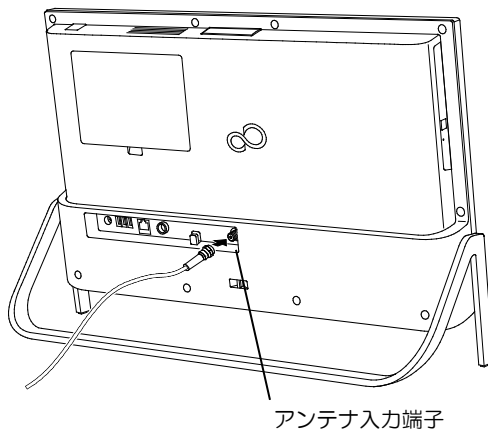
- アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。
- F型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合、ネジを締めるときに指をはさまないように気を付けてください。
- アンテナケーブルを接続する際は、パソコン本体の転倒に充分ご注意ください。詳しくは、『取扱説明書<スタートガイド>』の「取り扱い上のご注意」－「使用上のお願い」をご覧ください。

1 パソコン本体のアンテナ入力端子に、アンテナケーブルを接続します。

FHシリーズ（23型ワイド）



FHシリーズ（27型ワイド）



FHシリーズ（23.8型ワイド）

リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる

⚠ 警告



乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。



充電式電池はお使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また、故障の原因となる場合があります。

⚠ 注意



電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。



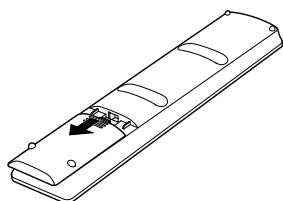
使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。



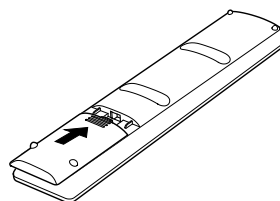
使用済み乾電池を充電して使用しないでください。液もれ、破裂の原因になります。

- 添付の乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合があります。早めに新しい乾電池（単4形乾電池2本）に交換してください。新しい乾電池の寿命の目安は、約6か月です。

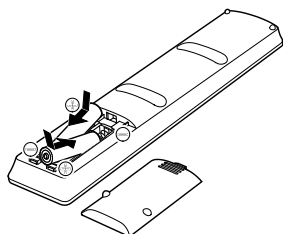
1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



3 電池ボックスのふたを閉めます。




2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確認し、添付の単4形乾電池を入れます。



テレビアプリ「DigitalTVbox」の初回設定をする

「DigitalTVbox」の初回設定は、マウスを使って行います。

- 1 リモコンの  を押して、パソコンの電源を入れます。

しばらくすると、パソコンが起動します。

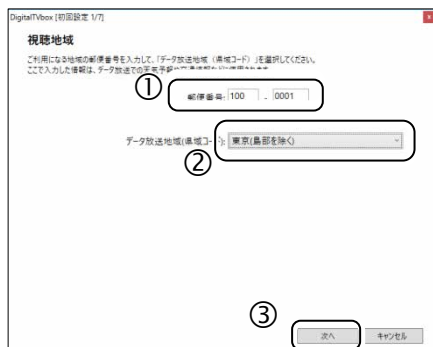
- 2  ▶ 「PIXELA」 ▶ 「DigitalTVbox」の順にクリックします。

「ソフトウェア使用許諾書」が表示されます。

- 3 「ソフトウェア使用許諾書」の内容を確認し、「はい」をクリックします。

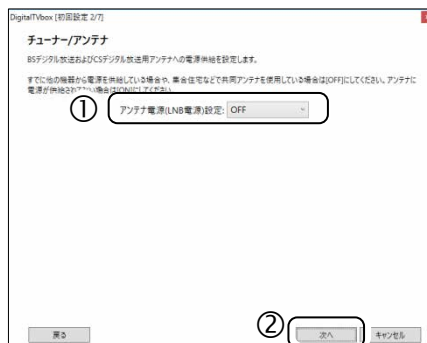
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4 お住まいの地域の郵便番号などを設定します。



- ① 郵便番号を入力します。
- ② 「データ放送地域（県域コード）」から、お住まいの地域を選択します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

- 5 チューナー／アンテナの設定をします。



- ① アンテナ電源の「ON」または「OFF」を選択します。

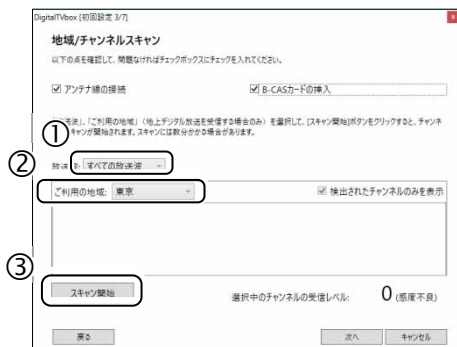
地上デジタル放送だけを視聴する場合や、ケーブルテレビの場合、アパート・マンション等で共同アンテナをお使いの場合は「OFF」を選びます。

アンテナ電源については、「付録 アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）」（→P.62）をご覧ください。

- ② 「次へ」をクリックします。

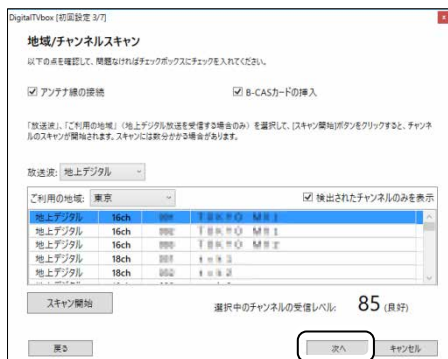
- 6 「地域／チャンネルスキャン」画面で、「アンテナ線の接続」と「B-CASカードの挿入」の をクリックして にします。

7 利用する放送波と地域を選択します。



- ① 利用する放送波を選択します。
- ② 利用する地域を選択します。
BS・110度CSデジタル放送だけを設定する場合は、地域を選択する必要はありません。
- ③ 「スキャン開始」をクリックすると、スキャンが開始されます。
チャンネルスキャンには時間がかかります。しばらくお待ちください。

8 スキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。



Point

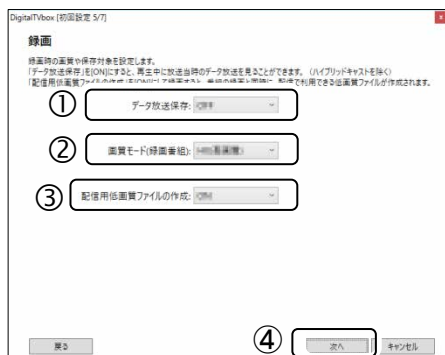
- 電波が強すぎたり弱すぎたりすると、受信レベルが小さく表示されます。

9 録画番組を保存するハードディスクドライブを指定します。通常は変更する必要はありません。



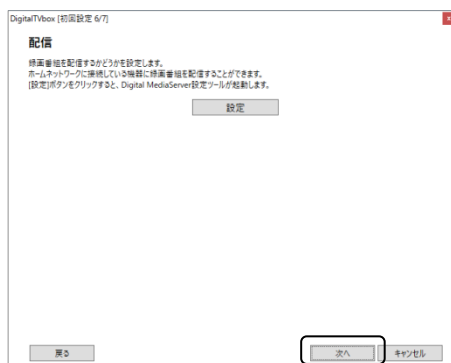
- ① 「保存先ドライブ設定」のリストから、録画番組を保存するハードディスクドライブを選び、 をクリックして にします。複数のハードディスクドライブを選んでおくと、1つのハードディスクドライブの空き容量が不足したときに、別のハードディスクドライブに録画番組を保存します。
- ② 「最初に使用する保存先ドライブ」を選択します。
複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

10 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「配信用低画質ファイルの作成」を指定します。



- ① 「ON」にすると録画時にデータ放送を保存します。「OFF」にすると録画時にデータ放送を保存しません。(初期値：OFF)
- ② 番組を録画するときの画質を指定します。(初期値：DR (最高画質))
詳しくは、「付録 ハードディスクに録画するときの画質の選び方」(→P.52)をご覧ください。
- ③ 配信用低画質ファイルの設定を行います。(初期値：OFF)
- ④ 「次へ」をクリックします。

11 録画番組を配信するかどうかを設定します。通常は、このまま「次へ」をクリックします。



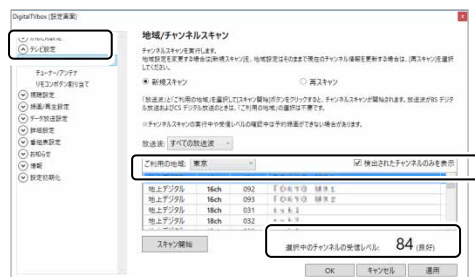
録画番組の配信設定は、あとで行うことができます。詳しくは「テレビ番組をネットワーク経由で配信する(→P.60)」をご覧ください。

12 「完了」画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

テレビの視聴画面が起動します。
これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルの確認

- 「DigitalTVbox」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認できます。
テレビ画面をクリックして表示される操作パネルから「メニュー」▶「設定」の順にクリックすると、「DigitalTVbox [設定画面]」が表示されます。
「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順にクリックし、放送局を選択すると、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていればアンテナの角度が最適の状態、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。



- 画質および音質は、アンテナの電波受信状況に大きく左右されます。
- お使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをお使いの場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- お使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

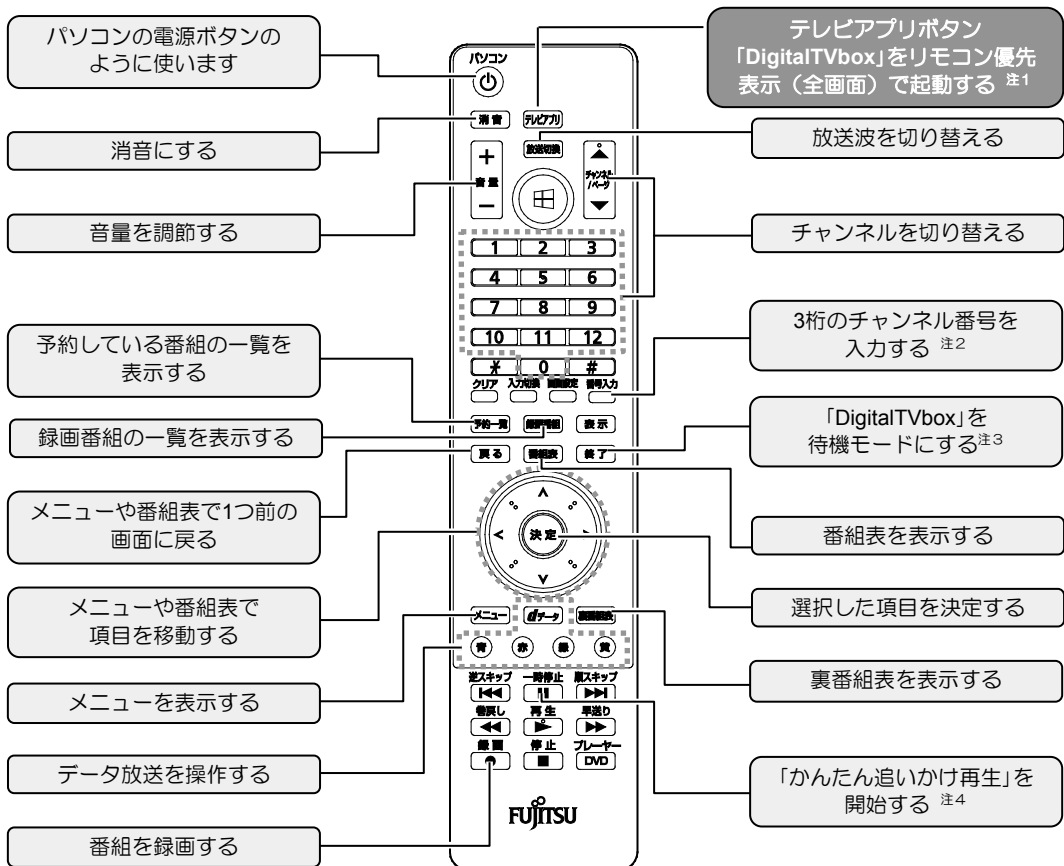
2

テレビ番組を見る

ここでは、テレビの基本的な操作方法について説明します。
テレビの操作は、「リモコン」または「マウス」で行います。

リモコンで操作する

パソコンから離れて、リラックスした姿勢でテレビを鑑賞するときは、リモコンが便利です。



(リモコンは機種により異なります注5)

注1：Windowsのサインインパスワードを設定している場合は、設定の変更が必要です。詳しくは、「Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意」(→P.29)をご覧ください。

注2：を押してから数字ボタンでチャンネルを入力して、チャンネルを切り替えることができます。

注3：待機モードについては、「予約録画について」(→P. 28)をご覧ください。

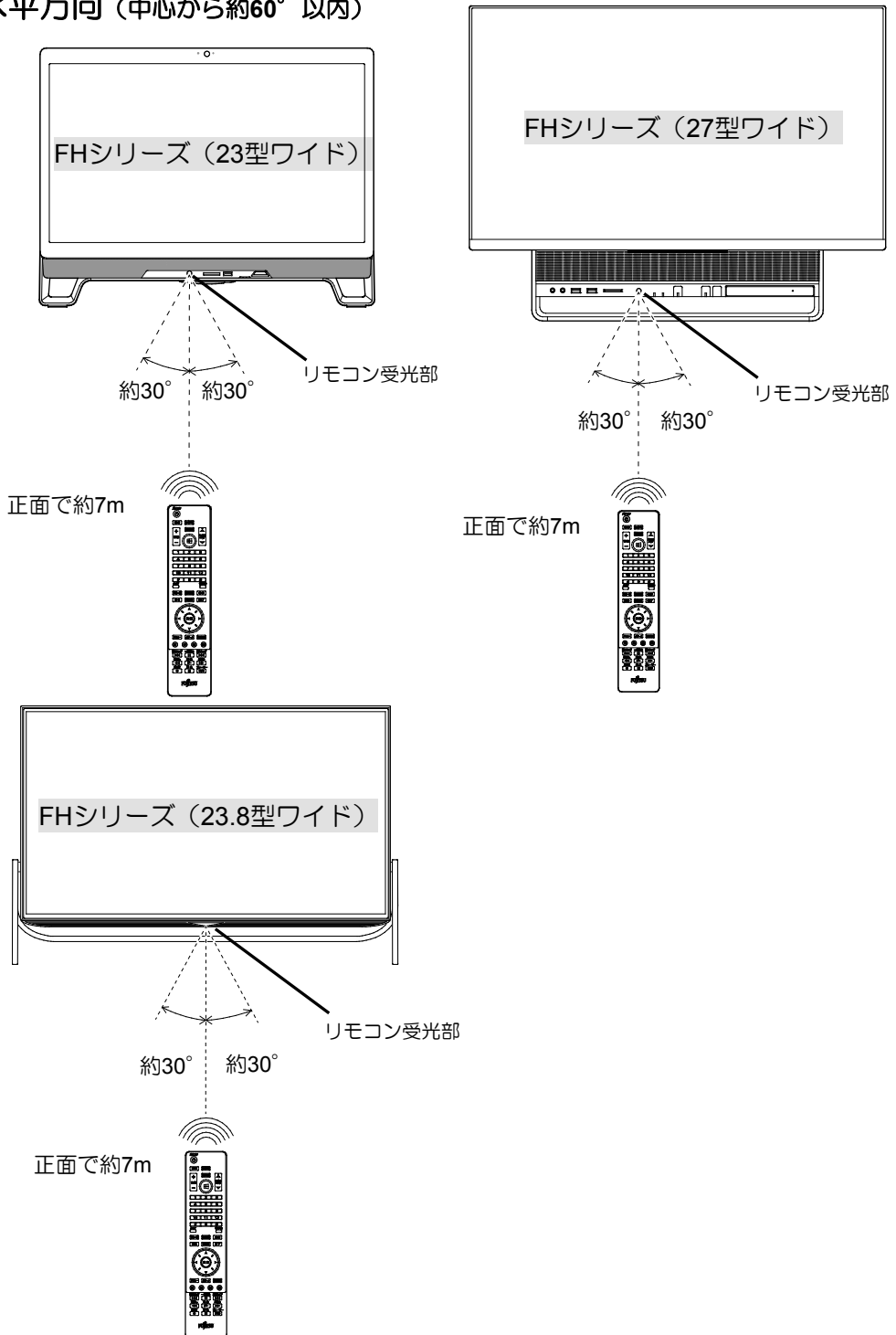
注4：テレビの視聴中にを押すと番組が一時停止し、を押すと、そこから番組が再開されます。少し席を外したいときなどに便利な機能です。を押した時点から番組が終了するまで、番組が録画されます。

注5：『取扱説明書<活用ガイド>』の「各部の名称と働き」もあわせてご覧ください。

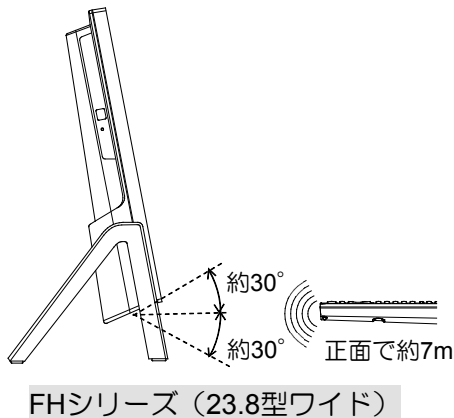
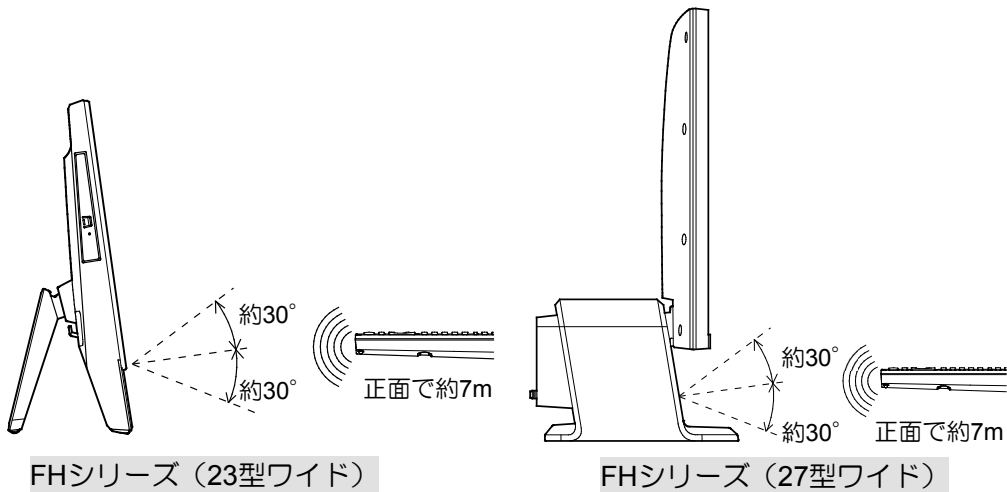
パソコン本体のリモコン受光範囲の目安

リモコン受光部とリモコンの間に障害物がない状態で、受光部に向けて操作してください。

■ 水平方向（中心から約60° 以内）



■ 垂直方向（中心から約60° 以内）



リモコンをお使いになるうえでの注意

- アプリの起動中や終了中に操作すると、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- 直射日光などの強い光があたる場所では、使用距離が短くなる場合があります。
- このリモコンの通信方式は、赤外線方式です。プラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、赤外線の影響により、リモコンが正常に動作しないことがあります。設置場所を変更してください。
- リモコンの「数字キー」は、アクティブなウィンドウに対して有効です。複数のアプリケーションを起動してテレビを見ながら作業しているときに、チャンネルを変えるつもりでリモコンの「数字キー」を押すと、起動している別のアプリケーションに数字が入力されることがあります。テレビの操作をするときは、「DigitalTVbox」のウィンドウをクリックしてアクティブな状態にしてください。

マウスで操作する

マウスを使って、パソコンの画面上で操作します。

■ テレビを起動する

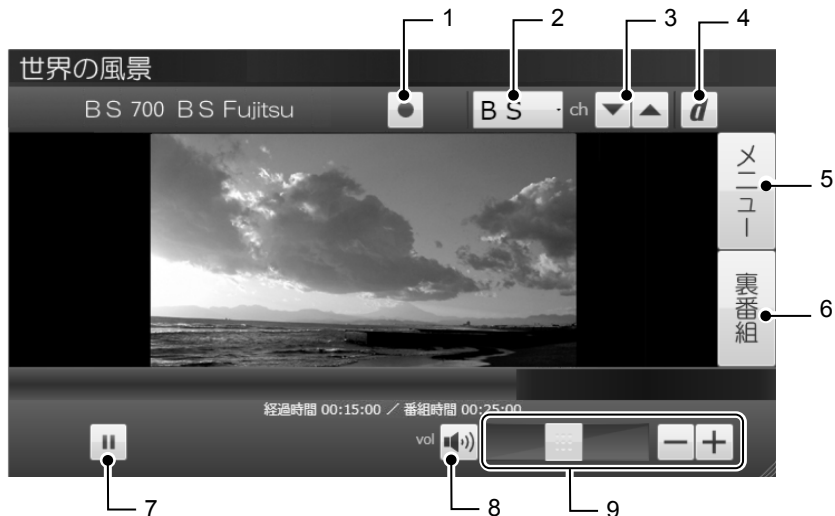
マウスを使ってテレビを起動するときは、次の手順で「DigitalTVbox」を起動します。






 ▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」の順にクリックします。

■ 操作パネルの使い方

テレビの視聴中にテレビ画面をクリックすると、操作パネルが表示されます。

操作パネルは、しばらく何もしないと自動的に消えます。



1	視聴中の番組を録画します。 「見ている番組を録画する」(→P.22)	7	テレビの視聴中に、「かんたん追いか け再生」ができます。(→P.14)
2	放送波を切り替えます。	8	 をクリックして  にすると、消音 になります。もう一度クリックすると元 の音量に戻ります。
3	チャンネルを切り替えます。	9	 を左右に動かす、または   を クリックして、音量を調節します。
4	データ放送を表示します。		
5	メニューを表示します。		
6	視聴している番組以外の、放送中の番組 一覧を表示します。 番組をダブルクリックすると、番組が切 り替わります。		

■ テレビを終了する（待機モード）

操作パネルが表示された状態で、「メニュー」▶「待機モードへ」の順にクリックします。

待機モードでは、番組表の情報収集や録画予約の待機をします。

視聴中の操作

リモコンやマウスを使って操作します。

■ 字幕や音声などの設定を変更する（メニュー）

メニューを使うと、字幕の表示／非表示や音声の切り替えなどができます。

- 1 テレビ画面が表示されている状態で、
[メニュー] を押します。



（選択できる項目は状況により異なります）

Point

- 字幕対応番組で、常に字幕を表示するように設定することもできます。「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「字幕」の順にクリックして表示される設定画面で変更します。
- 「マウス優先モード」のときにリモコンで操作すると、「リモコン優先表示に切り換えます。よろしいですか?」と表示されます。「はい」を選択してください。
- 「メニュー」▶「表示切換」で「DigitalTVbox」のウィンドウサイズを変更できます。詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 1. [PIXELA] ▶ 「PIXELA」▶ 「DigitalTVbox 取扱説明書」の順にクリックします。

- 2 <◇> で設定したい項目を選択し、設定の変更を行います。

- 3 もう一度 [メニュー] を押すと、メニューが終了します。

■ テレビを見ながら別の作業をする

テレビを見ながら別のアプリケーションで作業をする場合は、マウスでの操作をお勧めします。また、「DigitalTVbox」のウィンドウがアクティブな状態であれば、キーボードの数字キーでチャンネルを変更することもできます。詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の「キーボードショートカット」をご覧ください。

1. [PIXELA] ▶ 「PIXELA」▶ 「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

■ データ放送／Hybridcastを見る

「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどを介した双方向サービスを利用してクイズに答えるなど、番組に参加することができます。

また、一部の放送局および番組ではHybridcast（ハイブリッドキャスト）を表示することが可能です。

「Hybridcast」とは、放送とインターネットの両方を使って、従来のデータ放送より高画質な画像やアニメーションなどを表示させたり、テレビ番組にインタラクティブな要素を加えたりできるサービスです。また、タブレットやスマートフォンなどの携帯端末との連携、連動もより密接に行えるようになっていきます。


1 テレビ画面が表示されている状態で、**dデータ** を押します。




2 <◀>、**決定**、**青**、**赤**、**緑**、**黄**などのボタンで操作します。

3 もう一度 **dデータ** を押すと、元の画面に戻ります。

【重要】 データ放送を見るとき注意

- 録画番組にデータ放送のデータを保存する場合は、「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「録画」で「データ放送保存」を「ON」に設定します。
- 双方向サービスの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 双方向サービスは、インターネット接続を利用してデータの送受信を行う形式が中心ですが、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送の一部の番組では、電話回線を使った双方向サービスが提供されています。本パソコンでは、電話回線を使った双方向サービスはご利用になれません。
- 双方向サービスについて詳しくは、「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 -  ▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。
- データ放送をマウスで利用するときは、「メニュー」▶「データ放送操作パネル」で表示されるデータ放送操作パネルを使って操作してください。

【重要】 Hybridcastを見るとき注意

- Hybridcastを表示するときは、リモコンモードでのご使用をおすすめします。
- 録画番組でHybridcastを表示することはできません。
- Hybridcastの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- Hybridcastの一部のコンテンツでは「DigitalTVboxではこのコンテンツを表示できません」と表示され、内容を表示できないものがあります。
- Hybridcastについて詳しくは、「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 -  ▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。
- Hybridcastをマウスで利用するときは、「メニュー」▶「データ放送操作パネル」で表示されるデータ放送操作パネルを使って操作してください。

3

番組表を使う

番組表を見ながら、番組の詳細情報を見たり、録画予約したりできます。

また、番組のジャンルやキーワードを指定して、番組を探すこともできます。

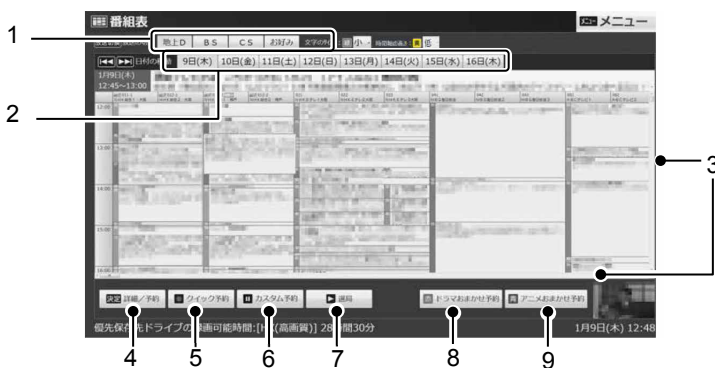
番組表を見る

リモコンの場合は、**番組表**を押します。

マウスの場合は、操作パネルを表示し、「メニュー」→「番組表」の順にクリックします。

重要 番組表を使うときの注意

- 番組表は放送波から自動的に受信されますが、受信に時間がかかります。特に、使い始めたばかりでは、番組表の取得、表示までに時間がかかります。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。
- 番組表を受信中は、自動的にスリープや休止状態になりません。





Point

- 「メニュー」▶「設定」▶「番組表設定」▶「番組表自動取得」の順にクリックして表示される設定画面で、番組データを取得する方法を設定できます。



1 放送波を切り替えます。	7 選択している番組の視聴画面を表示します。
2 日付を切り替えます。	8 ドラマをおまかせで予約します。条件の指定は変更できます。「おまかせ予約」で録画する(→P.25)
3 スクロールバーを使って、放送局や時間帯を変更します。	9 アニメをおまかせで予約します。条件の指定は変更できます。「おまかせ予約」で録画する(→P.25)
4 選択している番組の詳細情報を表示します。	
5 選択している番組を録画予約します。	
6 カスタム予約をします。「チャンネルや時間を指定して予約する(カスタム予約)」(→P.24)	

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する／閉じる	
放送局や時間帯を変更する	
放送波を切り替える	
選択している番組の詳細情報を見る	
日付を進める、戻す	 (進める)  (戻す)
選択している番組を録画予約する	

ジャンルやキーワードから番組を探す

番組のジャンルやキーワードなどから、見たい番組を探すことができます。

- 1 番組表を表示した状態で  を押し、「番組検索」を選択し、 を押します。

「番組検索」画面が表示されます。ここでは、マウスを使った操作方法を説明します。

- 2 「詳細検索／おまかせ予約」をクリックします。



- 3 「詳細検索」画面で、検索の条件を指定します。



フリーワードをリモコンで入力することはできません。キーボードで入力してください。

Point

- 「条件を登録」をクリックすると、検索条件を登録できます。登録した検索条件は、「検索条件」のリストから選んで呼び出すことができます。

- 4 条件の指定が完了したら、「検索開始」をクリックします。

検索結果が表示されます。

4 テレビ番組を録画する

ここでは、テレビ番組のいろいろな録画方法について説明します。

重要 テレビ番組を録画するときの注意

テレビ番組を録画するとき気を付けていただきたいことがあります。
詳しくは、「テレビ番組を録画するときの注意」(→P.27)をご一読ください。

Point 関連項目

必要に応じて次の項目をお読みください。

「付録 ハードディスクに録画するときの画質の選びかた」(→P.52)

「付録 録画の保存先や画質などを変更する」(→P.53)

「付録 録画するときの画質による仕様の違い」(→P.55)

「付録 録画番組を保存するための容量の目安」(→P.58)

見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。



1 テレビ番組を視聴中に を押します。

録画が開始されます。

 を2回押すと「この番組終了まで」、3回押すと「次の番組終了まで」、それぞれ録画終了タイマーが設定されます。

2 録画を停止するときは、録画している番組を表示中に を押します。

Point マウス操作

- マウスで操作するときは、操作パネル上の  /  をクリックして録画を開始・終了します。

番組表から録画予約する

番組表を見ながら、録画予約することができます。

1 **番組表** を押します。

2 **<◇>** で予約したい番組を選択し、**決定** を押します。



検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」(→P.20)をご覧ください。

3 「詳細／予約」画面で、**録画** を押します。

必要に応じて、「画質」や「くりかえし」の設定を変更します。

予約が完了すると、番組表上に **🕒** が表示されます。

くりかえし：「毎週」など、定期的な予約録画を行う場合の頻度を変更します。



録画予約を変更する

1. **予約一覧** を押します。
2. **<◇>** で変更したい番組を選択し、**黄** を押します。
3. **青** や **緑** を押し、**<◇>** で各種設定を変更します。
4. 設定変更が完了したら、**赤** を押します。

録画予約を取り消す

1. **予約一覧** を押します。
2. **<◇>** で変更したい番組を選択します。
3. **0 取消** を押します。
4. **<◇>** で「はい」を選択し、**決定** を押します。

チャンネルや時間を指定して予約する（カスタム予約）

チャンネルと時間を指定して予約することで、番組表に表示されていない番組の録画予約ができます。

1 を押します。

2 を押し、「カスタム予約」を選択し、 を押します。

3 録画の条件を指定します。

カスタム予約

放送局: BS チャンネル: 101 BS Fuji

放送日: 1月24日(月) 開始時刻: 16:30 ~ 終了時刻: 18:00 (1時間30分)

終了通知: しない

オプション:
番組表予約への自動切替: しない

番組: DR(最高画質) くりかえし: 1回

優先保存先ドライブの録画可能時間:[DR(最高画質)] 83時間39分 1月20日(木) 16:30

4 設定変更が完了したら、 を押します。

同じチャンネルで（18:00～18:30と18:30～19:00のように）連続した2つの番組をカスタム予約すると、録画した番組に「中断」と表示されることがあります。連続した番組をカスタム予約する場合は、1つの予約として登録することをお勧めします。

「おまかせ予約」で録画する

ジャンルやキーワードなどの条件を登録しておく、条件に合った番組を自動で録画できます。

重要

- 「おまかせ予約」は録画を保証するものではありません。確実に録画をしたい場合は、録画予約を行ってください（→P.23）。
- 「おまかせ予約」を登録している場合、通常の録画予約を行うときに「外の予約と重複しています」というメッセージが表示される場合があります。この場合は「予約一覧」を押して、予約一覧から録画予約の確認をしてください。
- 通常の録画予約と「おまかせ予約」が重複する場合、「おまかせ予約」で予約された番組は、録画番組一覧に「中止」と表示されることがあります。これは通常の録画予約を優先して実行するため、故障ではありません。

■「おまかせ予約」を設定する

1 テレビ画面が表示されている状態で「メニュー」を押し、「おまかせ予約」を選択し、「決定」を押します。

2 「詳細検索/おまかせ予約」画面で、検索の条件を指定し、「条件を登録」をクリックします。

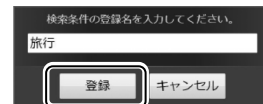


フリーワードをリモコンで入力することはできません。キーボードで入力してください。

Point

- 登録した検索条件は、「検索条件」のリストから選んで呼び出すことができます。

3 登録名を入力して「登録」をクリックします。



条件が登録されます。

4 「検索開始」をクリックします。

検索結果が表示されます。

5 「おまかせ予約登録」をクリックします。



「おまかせ予約」が設定され、検索された番組が録画予約されます。以降、番組表データを受信すると、条件に合った番組が自動的に録画予約されます。

Point

- 「おまかせ予約」と通常の予約録画が重なった場合は、通常の予約録画が優先されます。
- 「おまかせ予約」した番組は、番組表上に🕒（緑）が表示されます。
- 「おまかせ予約」した番組は、「予約一覧」画面や「録画番組一覧」画面で「おまかせ」と表示されます。



■ 「おまかせ予約」を解除する

- ① 「番組検索」画面で、削除したい検索条件を選択します。
「おまかせ予約」に設定されている検索条件は、赤字で表示されます。
- ② 「おまかせ予約削除」をクリックします。



■ 「おまかせ予約」で録画した番組を自動削除する条件を設定する

「おまかせ予約」で録画した番組は、録画保存先のハードディスク容量が15.5GB以下になると、古いものから自動で削除されます。

また、操作パネルから、「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「番組自動削除」で、「録画件数」または「未視聴期間」を設定すると、いずれかの条件を超えた場合に、保護している番組を除いて、古い番組から順番に削除されます。

テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときの注意していただきたいことを説明します。

■ 録画したデジタル放送番組に関する注意

- ハードディスクにある録画番組は、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。
- 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。







■ 録画全般について

録画するときはこんなことに気を付けてください

- 録画中は、パソコンの電源ボタンを押さないでください。
録画中にパソコンの電源ボタンを押すと、録画に失敗したり、故障の原因となったりすることがあります。また、電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、録画予約の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画ができません。強制終了した場合は再度電源を入れ、パソコンの電源ボタンを押してWindowsを終了してください。
- 録画中は、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画に失敗したり、故障の原因となったりすることがあります。
- 録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われなくなることがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。
- 周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中は、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。録画に失敗する原因となります。
- 録画中は、「WinDVD」を起動しないでください。
録画中に動画再生アプリを起動すると、録画番組にコマ落ちが発生することがあります。
- 視聴中の別番組録画について
一方のテレビチューナーでテレビを視聴しているときでも、もう一方のテレビチューナーで別の番組を録画できます。
- 録画中のリアルタイム番組解析について
番組の録画中に、番組の本編とその他の部分を解析し、スキップ再生やスキップ書き出しのためのチャプターを自動作成しています。
ただし、インテルCeleronプロセッサ搭載機種の場合、出荷時は「OFF」に設定されており、チャプターは作成されません。
録画済の番組に対して、後からチャプターを付けることができます。「録画番組一覧」で解析したい番組の「編集」をクリックし、「オートチャプター」をクリックします。処理が終了したら「保存して閉じる」をクリックしてください。チャプターの情報が保存されます。
また、録画中にリアルタイム番組解析を行うように設定することもできます。「OFF」の場合と比べてパソコンのCPU使用率が上昇するため、録画番組のコマ落ちやブロックノイズが発生する場合があります。インテルCeleronプロセッサ搭載機種の場合、「OFF」のままお使いになることをお奨めします。

■ 予約録画について

予約録画をする前に確認してください



- 通知領域にある  をクリックし、 を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。
 を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」または、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックしてください。「DigitalTVbox」が待機モードの場合に予約録画が行われず。
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を予約録画するときは、「アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）」（→P.62）をご覧になり、アンテナに電源を供給する接続や設定になっているか、確認してください。
放送中の番組を視聴、録画するときだけではなく、予約録画するときも、アンテナ電源の供給が必要です。
- 次の場合、予約録画が設定どおりに正しく動作しない場合があります。
 - 予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったとき（Windowsの終了やパソコンの電源を切る場合は、録画予約時刻の15分前には行うようにしてください）。
 - スリープや休止状態になったとき。
 - コンピューターがスリープになるまでの時間を変更しているとき。
- 予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。変更すると、録画に失敗することがあります。
ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定を戻してください。
 1.  を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
 4. 「バランス（推奨）」または「高パフォーマンス」の  をクリックして  にしてから、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの既定の設定を復元」をクリックします。
- 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約1分間が録画されません。
- 「DigitalTVbox」はユーザーアカウントが「管理者」、または「標準ユーザー」となっているユーザーでのみ予約録画できます。
「Guest」でサインインした場合、「DigitalTVbox」が起動しないため予約録画できません。
- B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
- アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
予約録画が失敗する原因となります。予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
- 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意

次の場合にサインインパスワードを入力する設定になっていると、サインインの画面から先に進めず、DigitalTVboxを起動できないため、予約録画が実行されません。

- スリープや休止状態から復帰するとき
- スクリーンセーバーを解除するとき

予約録画するときは、次の手順でサインインパスワードを使わない設定にしてください。

1.  ▶  ▶ 「アカウント」 ▶ 「サインイン オプション」の順にクリックします。
2. 「サインインを求める」の下に「PCがスリープから復帰したとき」と表示されている場合は、クリックして「表示しない」に変更します。
3. をクリックしてウィンドウを閉じます。
4. デスクトップの何も無いところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人用設定」をクリックします。
5. ウィンドウ左の「ロック画面」をクリックします。
6. 「スクリーンセーバー設定」をクリックします。
7. 「再開時にログオン画面に戻る」の をクリックして にします。
8. 「OK」をクリックします。

Windowsを終了した状態や電源を切った状態から予約録画をするときの注意

- このパソコンでは録画予約をしておけば、Windowsを終了したりパソコンの電源を切ったりしても、予約録画時間の前に自動的に起動して録画を開始し、録画が終了すると自動的に電源を切ることができます。そのためには、「PowerUtility-スケジュール機能」でサインインユーザーの設定が必要です。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」を削除しないでください。電源を切った状態からの予約録画ができなくなります。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源オン」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、予約録画のスケジュールが設定されていない場合、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます（BIOSで電源オン時刻を設定しても無効になります）。

電源を切った状態から予約録画をする準備

「PowerUtility - スケジュール機能」を起動し、予約録画時にサインインするWindowsのアカウントとパスワードを設定します。

1. 予約録画時にサインインしたいアカウントでWindowsにサインインします。

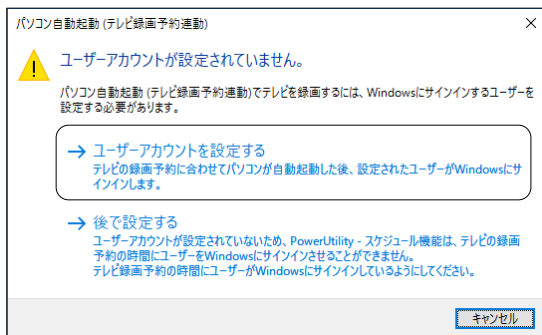


- 「Guest」でサインインした場合、予約録画できません。

2. ▶ 「FUJITSU - PowerUtility」▶ 「PowerUtility - スケジュール機能」の順にクリックします。

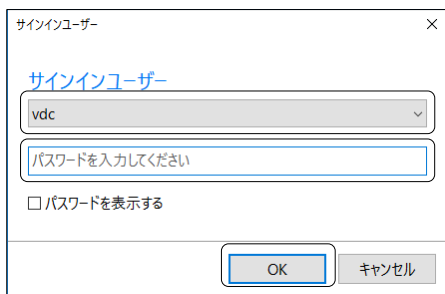
「ユーザーアカウントが設定されていません」と表示されます。

3. 「ユーザーアカウントを設定する」をクリックします。



4. 「サインインユーザー」に、現在Windowsにサインインしているアカウントが表示されていることを確認します。

「パスワードを入力してください」と表示されている欄をクリックし、Windowsにサインインするときのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



「サインインユーザーの設定を変更しました。」と表示されます。

5. 「閉じる」をクリックします。

「PowerUtility-スケジュール機能」の画面になります。


6. 「OK」をクリックします。

「PowerUtility-スケジュール機能」の画面が消えます。

これで、電源を切った状態から予約録画する準備は終わりです。

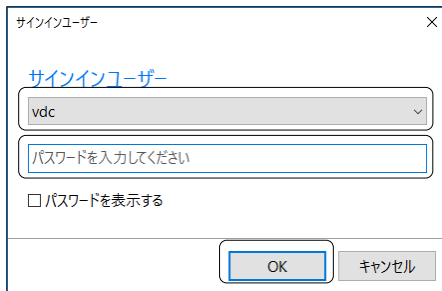
Windowsのユーザーアカウントやサインインパスワードを設定・変更したときは

Windowsのユーザーアカウントやサインインパスワードを変更したときは、次の手順で「PowerUtility-スケジュール機能」の「サインインユーザー」を設定し直してください。

1. 予約録画時にサインインしたいアカウントでWindowsにサインインします。
2.  ▶ 「FUJITSU - PowerUtility」▶ 「PowerUtility - スケジュール機能」の順にクリックします。
3. 「サインインユーザー」の「変更する」をクリックします。



4. ユーザーアカウントを選択または確認します。
「パスワードを入力してください」と表示されている欄をクリックし、Windowsにサインインするときのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



「サインインユーザーの設定を変更しました。」と表示されます。

5. 「閉じる」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。
設定が変更され、「PowerUtility-スケジュール機能」の画面が消えます。

5

録画した番組を再生する


ここでは、ハードディスクに録画した番組を再生する操作について説明します。

録画番組を再生する

1

 を押します。

2







録画番組の一覧が表示されたら、<◇> で見たい番組を選択し  を押します。
番組の再生が始まります。

3

番組の再生を終える場合は、 を押します。

■ 再生中の操作

録画番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。




したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	
一時停止する	
早送りする	
巻き戻す	
次のチャプターの区切りへスキップする <small>注</small>	
前のチャプターの区切りへ戻る <small>注</small>	

注：スキップボタンの機能を、指定した秒数だけ移動する「秒数スキップ」に変更することもできます。

「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「再生」の順にクリックして表示される設定画面で変更します。

インテルCeleronプロセッサ搭載機種の場合、出荷時の状態では、録画時にリアルタイム番組解析が行われず、チャプターは自動作成されません。詳しくは「テレビ番組を録画するときの注意」の「録画全般について」をご覧ください。

いろいろな再生方法

- 再生中に  を押すと、再生速度が0.8倍となり「ゆったり再生」になります。
再度  を押すと、通常の速度に戻ります。
- このほかにも、「スキップ再生」や「ダイジェスト再生」など便利な再生方法があります。
詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 -  ▶ 「PIXELA」▶ 「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

6


録画番組をメディアに書き出す／再生する

ここでは、ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Discなどのディスクや、SeeQVault（シーキューボルト）対応メディアに書き出す方法、書き出した番組を再生する操作について説明します。

録画した番組をメディアに書き出す


対応メディア

- DVD : CPRM対応の、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAM
 Blu-ray Disc : BD-R、BD-R DL、BD-R XL、BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL
 SeeQVault : microSDHCカード（SeeQVault対応）、
 対応メディア 外付けUSB ハードディスク（SeeQVault対応）

 Point SeeQVault（シーキューボルト）について

SeeQVaultとは、SeeQVault対応SDカードやSeeQVault対応ハードディスクに記録されたHDコンテンツを、さまざまなSeeQVaultに対応した機器で再生できるようにする技術です。SeeQVault対応メディアに録画番組を書き出すことで、本パソコン以外のSeeQVault対応機器での再生が可能になります。また、他のSeeQVault対応機器で録画した番組を本パソコンで再生することもできます。

- DVDに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。
- Blu-ray Discに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したBlu-rayプレーヤーで再生できます。
- SeeQVault対応メディアに書き出したテレビ番組は、「CyberLink SeeQVault Player」またはSeeQVaultに対応した他のプレーヤーや機器で再生できます。（ただし、SeeQVault対応のすべてのプレーヤーや機器において動作を保証するものではありません。）

DVDやBlu-ray Discなどの推奨ディスクについては、 『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」―「光学ドライブ」をご覧ください。

1枚のディスクに、何時間分の番組を記録できるかについては、「付録 メディアに書き出すときの記録時間の目安」（→P.59）をご覧ください。

書き出しの特徴

■ ダビングと移動（ムーブ）

メディアに書き出す方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビング：ハードディスクに録画番組を残したまま、メディアに録画番組をコピー（バックアップ）する機能

ムーブ：録画番組をメディアに書き出した後、ハードディスクから録画番組を削除する機能

■ コピー制御信号について

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。

メディアへのダビングができる回数は、このコピー制御信号の種類によって異なります。

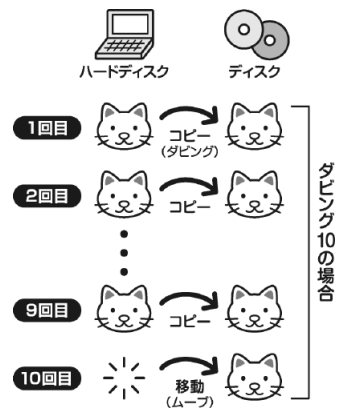
この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング10」の4種類があります。

コピーネバー：ハードディスクへの録画、およびメディアへの書き出しができない信号です。

コピーフリー：ハードディスクに録画した後、その録画番組をメディアに何回でも書き出すことができる信号です。

コピーワンス：ハードディスクに録画を行った時点で、1回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、メディアに録画番組を書き出したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画番組は自動的に削除されます。

ダビング10：ハードディスクに録画番組を残したまま、最大9回までデータをメディアにコピーできます。10回目にデータをメディアに書き出すと、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。



録画した番組を書き出すときの注意

重要 AACスキーを更新してお使いください

- Blu-ray Discへ録画番組を書き出す場合、および画質変換を行わない（AVCREC形式）でDVDに書き出す場合は、AACス（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化される際には、「AACスキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACスキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法については、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/aacs/>

- 録画番組をダビング中や移動（ムーブ）中に、停電などによる電源断など不慮の事故や強制シャットダウンによってパソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れによって書き込みが中断したりした場合、ダビングや移動（ムーブ）を実行していた録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除されることがあります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを再生できなくなることがありますのでご注意ください。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。なお、SeeQVault対応メディアに書き込む場合は、移動（ムーブ）の途中でキャンセルしてもダビング可能回数は減りません。
- 大切な録画番組をメディアに書き出す前に、テスト用の録画番組をメディアに書き出し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- ハードディスクに録画したときの画質や書き出すメディアにより、保存されるデータや、メディアのフォーマット形式が異なりますので、注意してください。詳しくは、「付録 録画の保存先や画質などを変更する」（→P.53）をご覧ください。
- 録画番組を書き出すメディアにデータが入っている場合、メディアのフォーマットを行うと録画番組のデータが削除されます。データを削除したくない場合は、フォーマットをせずに追記するか、新しいメディアを用意してください。
- デジタルテレビ放送の放送波の受信状況が悪い状態で録画した番組を再生すると、映像のコマ落ちや乱れが発生する場合があります。
このような録画番組をBlu-ray Discへムーブやダビングを行った場合、またはAVCRECフォーマットでDVDへムーブやダビングを行った場合、WinDVDで正常に再生できないことがありますのでご注意ください。なお、これは受信した放送波が正しくないことが原因で起こる問題で、本パソコンの故障ではありません。そのままお使いください。
- SeeQVault対応メディアに書き出す場合、NSMキーをダウンロードするためにインターネット接続が必要になります。
- 他のSeeQVault対応機器で使用したSeeQVault対応メディアがDigitalTVboxで認識できない場合、SeeQVault対応メディアを書き出し可能なフォーマット（→P.56）にする必要があります。なお、フォーマットすると、SeeQVault対応メディア内のすべてのデータが削除されますのでご注意ください。フォーマット方法については、SeeQVault対応メディアの取扱説明書をご確認頂くか、Windowsの機能でフォーマットしてください。

- DVD-RAMに録画番組のデータを追記する場合、メディアに録画番組以外のデータが入っていると、追記ができません。メディアに入っているデータが録画番組だけの場合には追記が可能です。
- メディアの書き出し中は、録画番組の視聴はできません。
- メディアの書き出し中は、他のアプリを起動または操作しないでください。
- 状況によってメディアへの書き出しは、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。
- メディアの書き出しはリモコンで操作できません。マウスを使って操作してください。

📖『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」—「光学ドライブ」にも、DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

録画した番組を書き出す

- 1 **メディアをパソコン本体にセットします。**
- 2 **録画番組** を押します。
- 3 録画番組の一覧が表示されたら、**メニュー** を押して表示されるメニューから、<◇> で「書き出し」を選択し、**決定** を押します。



- 4 マウス操作に切り替わるというメッセージが表示されたら、<◇> で「はい」を選択し、**決定** を押します。

この後はマウスを使って操作してください。

5 書き出すメディアを選択します。



6 「メディアを確認しました。[次へ]をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。



DVDの場合、書き出し時のフォーマット形式を選択します。録画画質と同じ画質で書き出す場合は「AVCREC」を選択してください。

Point

- 「フォーマット」で「する」を選択した場合、お使いのメディアによって削除されるデータが異なります。DVD/Blu-ray Discの場合は、すべてのデータが削除されます。SeeQVault対応メディアの場合、DigitalTVboxで書き出したすべての録画番組のデータが削除されますが、それ以外のデータは削除されません。

7

メディアに書き出したい録画番組を選択し、「書き出し」をクリックします。

[Ctrl] を押しながらクリックすると、複数の番組を選択できます。ただし、DVDに書き出す場合、記録モードが「DR」の番組は画質の異なる番組と同時に書き出せません。

■DVD/Blu-ray Disc の場合



DVDに書き出す場合は、画質を選択します。

チェックを入れると、スキップに設定したチャプターを除いて書き出しを行います。

■SeeQVault 対応メディアの場合



SeeQVault対応メディアの場合、画質を選択します。なお、画質圧縮を選択した場合、録画時の画質を選択した場合よりも完了までに時間がかかります。

Point

- 項目名をクリックすると、録画番組をソートできます。

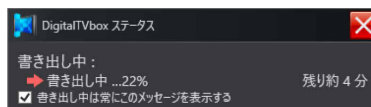
録画日時	録画時間	画質モード	コピー回数
------	------	-------	-------

- SeeQVault対応メディアの場合、記録モードが「HL」「HE」の番組を画質圧縮して書き出すことはできません。

8

「書き出しを実行すると、ダビング10または・・・」というメッセージが表示されたら内容を確認し、続行する場合は「はい」をクリックします。

書き出しが開始され、デスクトップ画面右下に進行状況が表示されます。




書き出しが終了したら、**[X]** をクリックして完了画面を閉じます。

書き出した番組を再生する

DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出したテレビ番組を再生するには、添付のアプリ「WinDVD」を使います。また、Blu-ray Discは、「Windows Media Player」やその他の市販のソフトウェアでは再生できません。


SeeQVault対応メディアに書き出した番組を再生するには、添付のアプリ「CyberLink SeeQVault Player」など、SeeQVault対応の再生アプリを使います。

メディアを再生するときの注意

- 書き出したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- メディアを再生する前に、他のアプリを終了させてください。また、再生中は他のアプリの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、メディアが正しく再生されない原因となります。
- メディアの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
アプリを更新するには、アップデートプログラムを実行してください。アップデートプログラムの実行方法については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「光学ドライブ」－「ディスクを再生するうえでの注意」－「■「WinDVD」の更新をする」をご覧ください。
- テレビ番組を録画している間は、メディアを再生しないでください。メディアの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
メディアの再生は、録画予約が設定されていない時間帯に行ってください。メディアの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、メディアの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- SeeQVault対応メディアに書き出した録画番組をハードディスクレコーダーなどの再生機器で視聴する場合、再生機器がSeeQVault対応メディアと同じフォーマットをサポートしている必要があります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- SeeQVault対応SDカードに書き出した番組を本パソコン以外の装置で再生するとき、SeeQVault対応のSDカードリーダーが必要な場合があります。詳しくは、再生機器、またはSeeQVault対応のSDカードリーダーの取扱説明書や対応機器をご確認ください。
- パソコンのAACsキーを更新してお使いください。
Blu-ray Disc内の録画番組、および画質変換しない(AVCREC形式)でDVDに録画した番組は、AACs (Advanced Access Content System) と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化された録画番組を再生するときには、「AACsキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACsキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新方法については、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/aacs/>

DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出した録画番組の再生

- 1 ディスクをパソコン本体にセットします。
- 2 リモコンの  を押して、「WinDVD」でディスクを再生します。



「WinDVD」の使い方については、WinDVDのヘルプをご覧ください。

SeeQVault対応メディアに書き出した録画番組の再生

- 1 メディアをパソコン本体にセットします。
- 2 次の手順で「CyberLink SeeQVault Player」を起動して録画番組を再生します。
 ▶ 「CyberLink SeeQVault Player」▶ 「CyberLink SeeQVault Player」の順にクリックします。



「CyberLink SeeQVault Player」については、アプリ提供元のサイバーリンク株式会社にお問い合わせください。

サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート

電話：0570-080-110（ナビダイヤル）、03-5205-7670（PHS・一部のIP電話から）

受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）

URL：<http://jp.cyberlink.com/support/index.html>

お問合せ専用 Web フォーム：<http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/contact-support.jsp>

7

困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。該当するページをご覧ください。

- 画面がおかしい (→P.41)
- 音が聞こえない／変な音が聞こえる (→P.45)
- 操作ができない (→P.46)
- メッセージが表示される (→P.50)

画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。



番組によって映像の周りに黒い部分がある

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

画面の解像度が横1024ドット以上、かつ縦660ドット以上の設定でない場合、「DigitalTVbox」は起動しません。

また、パソコンの電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。

原因	対処
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「セットアップする」―「パソコンの準備をする」―「電源に接続する」をご覧ください。
電源が入っていない	電源を入れてください。詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」―「Windowsをスタートする／終了する」をご覧ください。
「おやすみディスプレイ」機能を使用している（「おやすみディスプレイ」搭載機種のみ）	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	

DVDやBlu-ray Discが再生できない、画像が乱れる

原因	対処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある、またはディスクが反っている	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やアプリの種類によって、互換性に違いがあります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やアプリのマニュアルなどをご確認ください。
Blu-ray Discを「WinDVD」以外のアプリで再生しようとした	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」をご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

原因	対処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(→P.8)をご覧ください。
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会のホームページ (http://www.apab.or.jp/) (2016年11月現在) をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、「アンテナケーブルの接続方法」(→P.61)をご覧ください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。 詳しくは、「miniB-CASカードをセットする」(→P.6)をご覧ください。
チャンネル設定が地域と合っていない	地上デジタル放送で地域を設定するとき、実際にお住まいの地域とは別の場所を設定したほうが良い場合があります。選択可能な地域の中からお近くの地域を試しに設定し、放送局とチャンネルが普段ご利用の状況に最も適合するものを選択してください。 地域の設定は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「地域/チャンネルスキャン」の順に選択してください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

原因	対処
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「テレビアプリ「DigitalTVbox」の初回設定をする」の「受信レベルの確認」（→P.13）をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

原因	対処
UHFアンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向を確認し、アンテナの向きを変えてください。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「テレビアプリ「DigitalTVbox」の初回設定をする」の「受信レベルの確認」（→P.13）をご覧ください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
他のアプリが動作している	次の例のように、他のアプリの動作状況に影響される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策アプリがウイルススキャンを行っているとき ・他のアプリの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

原因	対処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」（→P.8）をご覧ください。
BS・110度CSデジタル放送用アンテナを使用していない	BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 詳しくは、「アンテナケーブルの接続方法」（→P.61）をご覧ください。
アンテナ電源が供給されていない	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、アンテナにアンテナ電源を供給する必要があります。アンテナ電源については、「アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）」（→P.62）をご覧ください。
有料放送の申し込みをしていない	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。 詳しくは、各放送局にお問い合わせください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、BS・110度CSデジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、「miniB-CASカードをセットする」（→P.6）をご覧ください。

原因	対処
他のアプリが動作している	次の例のように、他のアプリの動作状況に影響される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策アプリがウイルススキャンを行っているとき ・他のアプリの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

原因	対処
雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなる場合があります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。アンテナの受信レベルの確認方法については、「テレビアプリ「DigitalTVbox」の初回設定をする」の「受信レベルの確認」(→P.13)をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	(対処1) 分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。 (対処2) アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

「このPCを初期状態に戻す」または「リカバリUSBメモリによるリカバリ（別売）」を行った後、録画番組が表示されない

「このPCを初期状態に戻す」を使ってご購入時に近い状態に状態を復元したり、「リカバリUSBメモリ（別売）」を使ってパソコンをご購入時の状態に戻したりすると、録画番組や関連する情報が消えてしまいます。

その場合、DigitalTVboxを起動すると、「システムリカバリーによって録画情報が消去された可能性があります。」というメッセージが表示されます。このような場合は、「はい」を選択し、「録画情報管理ツール」を起動してください。

詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

1.  ▶ 「PIXELA」▶ 「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

原因	対処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。
USBオーディオ経由で音声を出力している	「DigitalTVbox」は、USBオーディオへの音声出力は対応していません。パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子などに接続したスピーカーを使用してください。
音声出力をAACに設定している	「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「音声出力」の順に選択し、「音声出力形式」を「AAC」にしている場合、パソコン本体のスピーカーからは音声が出されません。

雑音が聞こえる

原因	対処
パソコンの近くで電波を発生する装置(携帯電話、PHSなど)を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用を中止してください。
受信できないチャンネルを選択した	他のチャンネルを選択してください。チャンネルの選択方法については、「リモコンで操作する」(→P.14)をご覧ください。







操作ができない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービス、スリープや休止状態に関するトラブルをまとめています。

テレビアプリ(テレビアプリボタン) を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない

原因	対処
Windowsのサインインパスワードを設定している	<p>Windowsのサインインパスワードを設定しているときは、次の(対処1)(対処2)を行ってください。</p> <p>(対処1) 自動サインインを設定していないと、次の場合にテレビアプリ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windowsを終了した状態や電源を切った状態から起動するとき <p>この場合は、次の手順で自動サインインを設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タスクバーの「検索ボックス」に「netplwiz」と入力し、[Enter]を押します。 2. 「このコンピューターのユーザー」の中から、自動サインインにしたいユーザーアカウントをクリックします。 3. 「ユーザーがこのコンピューターを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」のチェックを外し、「適用」をクリックします。 4. 選択したユーザーアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。 <p>(対処2) Windowsのサインインパスワードを入力する設定になっていると、次の場合にテレビアプリ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スリープや休止状態から復帰するとき • スクリーンセーバーを解除するとき <p>この場合は、「Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意」(→P.29)をご覧ください。</p>
Windows Updateのインストールが行われている	<p>Windows Updateのインストールが必要な場合は、テレビアプリ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない場合があります。</p>
「DigitalTVbox」を完全に終了している	<p>「DigitalTVbox」を完全に終了した後にパソコンを次の状態にすると、テレビアプリ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スリープにする • 休止状態にする • Windowsを終了する • パソコンの電源を切る <p>このような場合は「DigitalTVbox」を完全に終了せずに、待機モードにしてください(→P.17)。</p>

リモコンで操作ができない




原因	対処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、「リモコンに乾電池を入れる」(→P.10)をご覧ください。
リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が表記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が正しい向きに入っていない	電池の極性(＋)を正しい向きに入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、「リモコンに乾電池を入れる」(→P.10)をご覧ください。
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「セットアップする」―「パソコンの準備をする」をご覧ください。
リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。詳しくは、「パソコン本体のリモコン受光範囲」(→P.15)をご覧ください。
リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。詳しくは、「パソコン本体のリモコン受光範囲の目安」(→P.15)に記載されている注意事項をご覧ください。
リモコンマネージャーが起動していない	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。通知領域にある  (隠れているインジケータを表示します) をクリックし、  が表示されているか確認してください。表示されていない場合は、次の手順で「リモコンマネージャー」を起動してください。 1.  ▶ 「FUJITSU-リモコンマネージャー」▶ 「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域に  が表示されたことを確認してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「アプリ」をご覧ください。




予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。「録画番組」画面で番組を選択し、「詳細」画面に表示される「録画結果」もあわせてご確認ください。

「録画番組を再生する」(→P.32)





原因	対処
予約番組の前に放送されていた番組が延長され、番組の開始時刻が遅れたために、次の予約が優先された	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
スポーツ中継の延長や、雨天などにより、予約番組の放送が中止された	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
パソコンを強制終了したために、「PowerUtility」が予約時刻に起動していない	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画されません。強制終了した場合は、再度電源を入れ、パソコンの電源ボタンを押してWindowsを終了してください。
通知領域の  を右クリックして、「終了する」をクリックした	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。通知領域にある  をクリックし、  を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。予約録画を行う場合は、「終了」を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」もしくは、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」を待機状態にしてください。
自動サインインが有効になっていない	Windowsを終了した状態や、電源を切った状態から予約録画をする場合は、自動サインインを設定しておく必要があります。詳しくは、「Windowsを終了した状態や電源を切った状態から予約録画をするときの注意」(→P.29)をご覧ください。

原因	対処
予約時刻にWindows Updateが行われた	<p>テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、次の手順で確認、変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  ▶  (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にクリックします。 2. 表示されたウィンドウ左の「Windows Update」をクリックします。 3. 「アクティブ時間の変更」などの項目を調整します。
時刻設定が合っていない	<p>「DigitalTVbox」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。</p>
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	<p>「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。次の手順で「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  を右クリックします。 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」▶「プラン設定の変更」▶「詳細な電源設定の変更」▶「スリープ」の順にクリックします。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

原因	対処
利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない	<p>このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。</p>

スリープや休止状態にならない




原因	対処
デジタル放送の番組情報データを取得中の状態である	<p>番組情報の取得中は、自動的にスリープや休止状態になりません。通知領域にある  をクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが受信状態表示 ( : 青) のとき、全チャンネルの番組情報が自動的に取得されます。</p> <p>自動的にスリープや休止状態にする場合は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得/表示」の順にクリックし、「データ放送自動取得」を「OFF」にしてください。</p>

メッセージが表示される


ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

メッセージ	対処
放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200	別のチャンネルを選んで視聴してください。
この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210	
受信レベルが低下しています。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(→P.8)をご覧ください。
低階層に切り換わりました。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	
信号が受信できません。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202	
このチャンネルは存在しません。コード：E204	存在しないチャンネルが選択されています。チャンネル番号が間違っていないか、確認してください。
現在放送されていません。コード：E203	このチャンネルは現在、放送休止中です。チャンネルを変えるなどして利用してください。
接続アンテナのショートを検出しました。アンテナとの接続を確認してください。コード：E209	アンテナとパソコンの接続に問題があります。古いアンテナやケーブルを使用している場合にこのメッセージが表示されることがあります。
センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
通信ができませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。	
B-CASカードを正しくセットしてください。	(対処1)「miniB-CASカードをセットする」(→P.6)をご覧ください、B-CASカードが正しくセットされているかご確認ください。その後、次の手順に従ってカードIDを確認してください。 1.B-CASカードの向き、表裏が正しいか確認します。 2.「DigitalTVbox」を起動します。 3.「メニュー」▶「設定」▶「情報」▶「B-CASカード」の順に選択し、20桁の数字(カードID)が表示されれば、B-CASカードは正しくセットされています。 ⇒次ページに続く

メッセージ	対処
	(対処2)B-CASカードをセットし直しても、20桁の数字(カードID)が表示されない場合、パソコンになんらかの問題が発生していますので、故障や修理に関する受付窓口にご相談ください。 詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「富士通の窓口に相談する」をご覧ください。
年齢制限設定がありません。	「DigitalTVbox」の年齢制限設定をしていない状態で、視聴に年齢制限がある番組を利用しようとすると表示されます。 次の手順で年齢制限設定を行ってください。 1.「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「詳細設定」▶「視聴制限」の順にクリックします。 2.「新規暗証番号」および「(再入力)新規暗証番号」を入力し、「登録」をクリックします。 3.「暗証番号」を入力し、「確定」をクリックします。 4.「視聴年齢制限」で、年齢を選択し、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。
保存先ドライブのHDD容量が不足しているため、録画を中止(中断)しました。	録画の開始時(または録画中)に、録画保存先のハードディスク容量が5GB以下になった場合に表示されます。 録画保存先のハードディスクから不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてください。
キャプチャーボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。不要な番組を削除してください。	録画した番組がある状態で、全ドライブをご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合に表示されます。 次の手順で録画情報削除を行ってください。 1.  ▶ 「PIXELA」▶「録画情報管理ツール」をクリックします。 詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。 1.  ▶ 「PIXELA」▶「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。
ディスプレイやその他の使用機器が非対応、またはそれらの設定や接続に問題があるため、映像・音声の出力を停止しました。映像デバイスを確認してください。	「はい」をクリックしてメッセージを消してください。 画面が復帰しない場合は、「DigitalTVbox」を終了してパソコンを再起動してください。

BSデジタル放送で、NHKの受信料支払いに関するメッセージが表示される

メッセージ	対処
NHKと受信契約をしていない	NHKと受信契約をすると、メッセージ画面が表示されなくなります。 受信契約をする場合は、電話でお申し込みください。 詳しいご案内を表示する場合は、  を2秒以上押し続けてください(「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得/表示」で「データ放送自動取得」を「ON」に設定しておく必要があります)。

付録

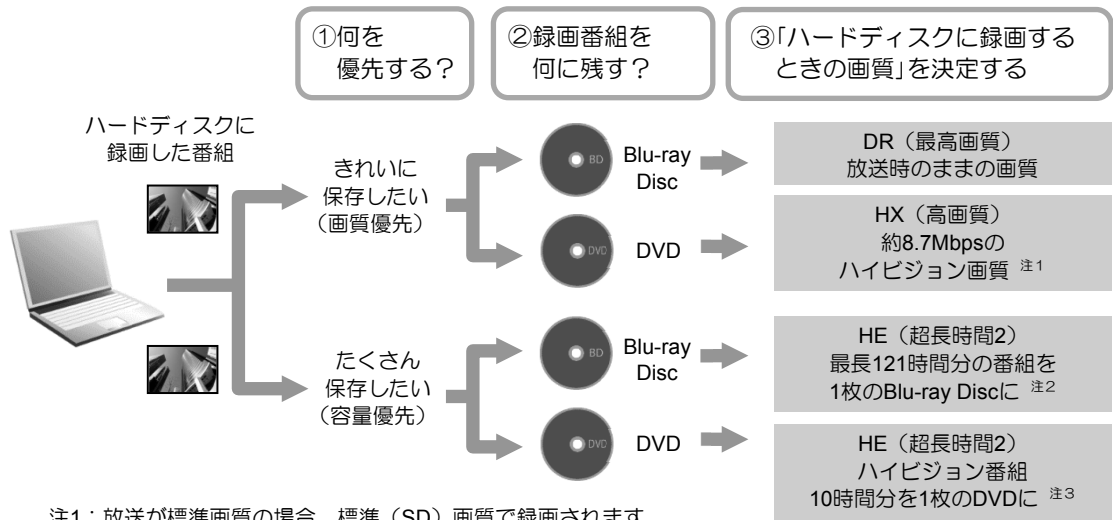
ここでは、必要に応じて読んでいただきたい内容を説明しています。

- ハードディスクに録画するときの画質の選びかた (→P.52)
- 録画の保存先や画質などを変更する (→P.53)
- 録画するときの画質による仕様の違い (→P.55)
- 録画番組を保存するための容量の目安 (→P.58)
- メディアに書き出すときの記録時間の目安 (→P.59)
- 外付けハードディスクに録画する (→P.60)
- テレビ番組をネットワーク経由で配信する (→P.60)
- アンテナケーブルの接続方法 (→P.61)
- アンテナ電源の供給 (BS・110度CSデジタル放送) (→P.62)

ハードディスクに録画するときの画質の選びかた

録画した番組を、最終的にDVDやBlu-ray Discなどのディスクに保存したい場合、ディスクに書き出すときのことと考えて、ハードディスクに録画するときの画質を選んでください。

ハードディスクに保存するだけであれば、ハードディスクの残り容量を考慮し、お好みの画質で保存してください。



注1：放送が標準画質の場合、標準 (SD) 画質で録画されます。

注2：BD-R XLに書き出した場合。

注3：DVD-R DLに書き出した場合。

上記は選び方の目安です。特定の媒体 (ディスク) や画質をお勧めするものではありません。

録画の保存先や画質などを変更する

録画番組を保存するハードディスクドライブや画質を変える場合は、あらかじめ設定を変更しておく必要があります。

- 1 テレビを起動した状態で **メニュー** を押します。
- 2 **<◇>** で「設定」を選択し、**決定** を押します。
- 3 マウス操作に切り替わるというメッセージが表示されたら、**<◇>** で「はい」を選択し、**決定** を押します。
この後はマウスを使って操作してください。
- 4 録画番組を保存するハードディスクドライブについて設定するときは、左側のメニューで「録画／再生設定」▶「保存先ドライブ」の順にクリックします。



設定項目	説明
保存先ドライブ設定	録画番組を保存するハードディスクドライブを設定します。DVD、Blu-ray Disc、SDカードなどに直接録画することはできません。
最初に使用する保存先ドライブ	複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。

設定を変更したら「適用」をクリックします。

5 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「配信用低画質ファイルの作成」について設定するときは、左側のメニューで「録画」をクリックします。



設定項目	説明
データ放送保存	「ON」にすると録画時にデータ放送を保存します。「OFF」にすると録画時にデータ放送を保存しません。（初期値：OFF）
画質モード (録画番組)	<p>「ハードディスクに録画するときの画質」を指定します。 (初期値：DR（最高画質）)</p> <p>(最高画質) (高画質) (長時間) (超長時間1) (超長時間2)</p> <p>← DR HX HS HL HE →</p> <p>きれい 長時間録画</p> <p>詳しくは、「ハードディスクに録画するときの画質の選びかた」(→ P.52)をご覧ください。</p>
配信用低画質 ファイルの作成	「ON」にすると録画時に配信用低画質ファイルを作成します。配信機能を使用するとき、モバイル端末向けの小さいサイズで録画番組を配信することができます。（初期値：OFF）

注：2つの番組を同時に録画（2番組同時録画）する場合、次の点に注意してください。

- 「画質モード（録画番組）」を「HX」以下の画質に設定した場合、録画が同じ時間帯で重複するなどにより、録画画質が「DR」に変更される場合があります。なお、変更された録画番組は、録画番組一覧画面に「振替DR」と表示されます。
- 「配信用低画質ファイルの作成」を「ON」に設定しても、「DR」画質で録画された場合に、配信用低画質ファイルが作成されない場合があります。

設定を変更したら「適用」をクリックします。

設定がすべて終わったら「OK」をクリックして画面を閉じます。

録画するときの画質による仕様の違い

ハードディスクに録画するときの仕様

ハードディスクに録画するときの画質	DR	HX	HS ^{注1}	HL ^{注1}	HE ^{注1}
ビットレート	地上デジタルHD : 約17Mbps 地上デジタルSD : 約8Mbps ^{注2} BSデジタルHD : 約24Mbps BSデジタルSD : 約11Mbps 110度CSデジタルHD : 約24Mbps 110度CSデジタルSD : 約11Mbps ^{注2}	約 8.7Mbps	約 4.5Mbps	約 2.2Mbps	約 1.6Mbps
画質	ハイビジョン (HD) ^{注3}				
データ形式	MPEG2-TS (音声: AAC)	H.264/MPEG-4 AVC (音声: AAC)			
データ放送のデータ	設定に依存 ^{注4}				
番組情報のデータ	保存				
字幕放送のデータ	保存				
副音声 ^{注5}	保存				
5.1チャンネル音声	保存				

Blu-ray Discに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
録画時に選択した画質のまま書き出し					
Blu-ray Discに書き出すときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
ビットレート	地上デジタルHD : 約17Mbps 地上デジタルSD : 約8Mbps ^{注2} BSデジタルHD : 約24Mbps BSデジタルSD : 約11Mbps 110度CSデジタルHD : 約24Mbps 110度CSデジタルSD : 約11Mbps ^{注2}	約 8.7Mbps	約 4.5Mbps	約 2.2Mbps	約 1.6Mbps
画質	ハイビジョン (HD) ^{注3}				
1枚のディスクに記録可能な時間 ^{注6}	約2時間	約6時間	約11時間	約21時間	約30時間
1枚のディスクに記録可能な番組数	200番組				
フォーマット	BD-RE	BD-RE			
データ放送のデータ ^{注7}	設定に依存 ^{注4}				
番組情報のデータ ^{注7}	保存				
字幕放送のデータ	保存				
副音声 ^{注5}	保存				
5.1チャンネル音声	保存				

DVDに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
-------------------	----	----	----	----	----



	画質変換して書き出す場合				録画画質そのまま書き出す場合 ^{注8}			
DVDに書き出すときの画質	XP	SP	LP	ぴったり ^{注9}	HX	HS	HL	HE
ビットレート	約 8.9Mbps	約 4.7Mbps	約 2.4Mbps	約 2~8Mbps	約 8.7Mbps	約 4.5Mbps	約 2.2Mbps	約 1.6Mbps
画質	標準 (SD)				ハイビジョン (HD) ^{注3}			
1枚のディスクに記録可能な時間 ^{注6}	約1時間	約2時間	約4時間	~約4時間	約1時間	約2時間	約4時間	約6時間
1枚のディスクに記録可能な番組数	99番組				200番組			
フォーマット	DVD-VR				AVCREC ^{注10}			
データ放送のデータ	削除*				削除*			
番組情報のデータ ^{注7}	削除*				保存			
字幕放送のデータ	削除*				保存			
副音声 ^{注5}	音声1のみ保存*				保存			
5.1チャンネル音声	2チャンネルに変換*				保存			

* : ディスクに書き出したときに、ハードディスク内の録画番組から変換や削除される項目

SeeQVault対応メディアに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
-------------------	----	----	----	----	----



	画質圧縮して書き出す場合	録画時の画質で書き出す場合
書き出し可能な画質	DR,HX,HS	DR,HX,HS,HL,HE
ビットレート	約2Mbps	ハードディスクに録画する場合と同じビットレート
画質	標準 (SD)	ハイビジョン (HD) ^{注3}
フォーマット	NTFS、FAT32 ^{注11} 、exFAT	
1つのメディアに記録可能な番組数	10000番組	
データ形式	H.264/MPEG-4 AVC (音声: AAC)	ハードディスクに録画する場合と同じデータ形式
データ放送のデータ	設定に依存 ^{注4}	
番組情報のデータ	保存	
字幕放送のデータ	保存	
副音声 ^{注5}	保存	
5.1チャンネル音声	保存	

- 注1：スポーツや音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をHS、HL、HEで録画すると、ブロック状のノイズが出たり、映像がスムーズに再生されなかったりなどの現象が出ることがあります。
このような番組を録画する場合は、DRまたはHXで録画することをお勧めします。
- 注2：放送局によって異なります。
- 注3：放送が標準（SD）放送の場合は標準（SD）になります。
- 注4：「録画の保存先や画質などを変更する」で「データ放送保存」を「ON」に設定する（→P.53）と、保存されます。
- 注5：音声多重放送や2ヶ国語放送などで、主音声以外に放送される音声です。
- 注6：Blu-ray Discについては、BD-R/BD-REでの録画時間、DVDについては、DVD-R/DVD-RW/DVD-RAMの片面ディスクの録画時間です。
- 注7：ディスク上にデータ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」では表示されません。
- 注8：録画画質と同じ画質で書き出す場合は、フォーマット形式をAVCRECにする必要があります。また、DRで録画した番組をそのままの画質で書き出すことはできません。
- 注9：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。ビットレートや記録可能な時間は、書き出す番組の時間によって異なります。
- 注10：この形式でDVDに書き出すと、AVCREC形式に対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。
- 注11：フォーマットがFAT32 の場合は、1 番組につき最大32GB まで書き出せます。

録画番組を保存するための容量の目安

1時間分の録画番組を保存するための容量の目安です。

録画用ハードディスク、Blu-ray Disc、DVDの場合

() 内：配信用低画質ファイルありの場合の容量

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送		録画番組の保存先
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	
DR	約7.7GB (約8.3GB)	約3.7GB (約4.3GB)	約10.9GB (約11.5GB)	約5.0GB (約5.6GB)	録画用ハードディスク Blu-ray Disc
HX	約4.1GB (約4.7GB) 注1				
HS	約2.2GB (約2.8GB)				録画用ハードディスク Blu-ray Disc DVD
HL	約1.2GB (約1.8GB)				
HE	約0.8GB (約1.4GB)				
XP	約3.8GB				DVD
SP	約2.0GB				
LP	約1.1GB				

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：標準 (SD) 放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

SeeQVault対応メディアの場合 (録画時の画質で書き出す)

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送	
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送
DR	約7.5GB	約3.5GB	約10.5GB	約4.8GB
HX	約4.0GB 注1			
HS	約2.0GB			
HL	約1.1 GB			
HE	約0.8 GB			

SeeQVault対応メディアの場合 (画質圧縮して書き出す)

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送	
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送
DR	約1.0GB 注1			
HX				
HS				

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：標準 (SD) 放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

メディアに書き出すときの記録時間の目安

DVDやBlu-ray Discなどの場合

1枚のディスクに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	DVD-R/DVD-RW/ DVD-RAM ^{注1} (約4.7GB)	DVD-R DL (約8.5GB)	BD-R/BD-RE (約25GB)	BD-R DL/ BD-RE DL (約50GB)	BD-R XL/ BD-RE XL (約100GB)
DR	—	—	約2.3時間 ^{注2}	約4.6時間 ^{注2}	約9.2時間 ^{注2}
HX	約1.1時間	約2.1時間	約6.1時間	約12.2時間	約24.3時間
HS	約2.1時間	約3.8時間	約11.3時間	約22.5時間	約45.1時間
HL	約4.0時間	約7.2時間	約21.1時間	約42.2時間	約84.4時間
HE	約5.7時間	約10.3時間	約30.3時間	約60.6時間	約121.2時間
XP	約1.2時間	約2.2時間	—	—	—
SP	約2.4時間	約4.3時間	—	—	—
LP	約4.3時間	約7.7時間	—	—	—
ぴったり ^{注3}	約4時間	約7.5時間	—	—	—

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：DVD-RAMの片面ディスクです。

注2：BSデジタルHDの番組を書き出した場合の目安です。

注3：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、1枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。

- ディスクの空き容量によっては、ぴったり収まらない場合があります。
- 1時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

SDカードの場合

1枚のSeeQVault対応SDカードに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	SeeQVault対応SDカード (16GB)	SeeQVault対応SDカード (32GB)
DR	約1.5時間	約3.0時間
HX	約4.0時間	約8.0時間
HS	約8.0時間	約16.0時間
HL	約14.5時間	約29.0時間
HE	約21.3時間	約42.6時間
画質圧縮	約16.0時間	約32.0時間

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：BSデジタルHDの番組を書き出した場合の目安です。

外付けハードディスクに録画する

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画できます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままメディアに書き出すこともできます。外付けハードディスクに録画するときは、「保存先ドライブ設定」や「最初に使用する保存先ドライブ」を変更してください。変更方法は、「録画の保存先や画質などを変更する」(→P.53)をご覧ください。

■ 外付けハードディスクに録画するときの注意


- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用できます。
- 外付けハードディスクはパソコン本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画やメディアへの書き出しに失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが作業開始時に使用可能な状態になっていないと、録画やメディアへの書き出しができません。
- SeeQVault対応の外付けハードディスクに番組録画した場合、通常の録画用ハードディスクとして扱われます。そのため、外付けハードディスクを他の装置に接続して再生する場合、録画した番組を同じハードディスクに書き出す必要があります。書き出し方法については、「録画した番組をメディアに書き出す」(→P.33)をご覧ください。
- 録画中は、外付けハードディスクにファイルコピーなどの負荷を与えないでください。録画番組の映像が止まったり、コマ落ちしたりする場合があります。

テレビ番組をネットワーク経由で配信する

家庭内ネットワーク（ホームネットワーク）に接続されている他のパソコン、タブレット、スマートフォンなどに、専用のアプリケーション「StationTV（ピクセラ社製：無料）」をダウンロードすれば、次のようなことができます。

- テレビのライブ視聴（宅内）
パソコンに内蔵のチューナーを利用して、他の機器でテレビを視聴できます。
- テレビ番組の録画予約、録画した番組の視聴（宅内）
他の機器からパソコンの録画予約をしたり、録画してある番組を再生したりできます。

詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

1.  ▶ 「PIXELA」▶ 「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

重要

- 宅外からテレビ番組のライブ視聴、録画予約、録画した番組の視聴を行うには、ピクセラ社製「リモート視聴プラグイン」（有料）が必要になります。
- インテル Celeron プロセッサ搭載機種の場合、StationTVを利用してパソコン、タブレット、スマートフォンから視聴することはできません。

アンテナケーブルの接続方法

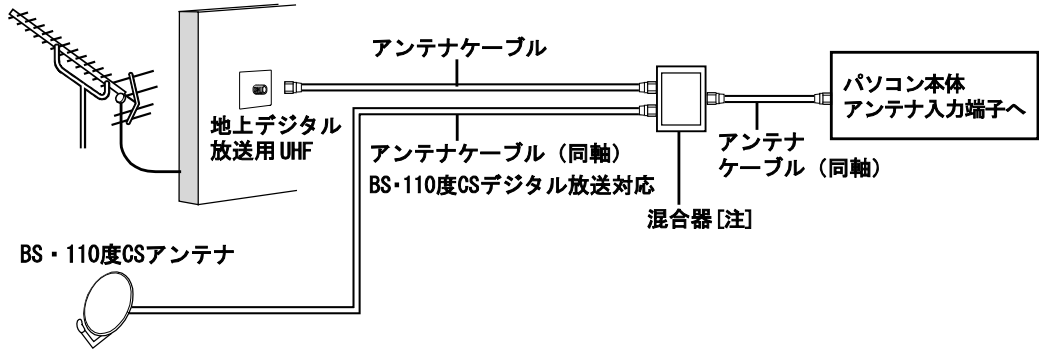
アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。次の図を参考に、必要なケーブル類を用意してください。ここでは、パソコンのみを接続する場合を紹介しています。

重要 接続するアンテナコネクタについて

- 雷によるパソコンの破損、感電、火災の危険を少しでも低減するため、アンテナケーブルは、同軸ケーブルの外側（シールド側：網組み銅線部分）が接地されているアンテナコネクタに接続してください。
- アンテナ（コネクタ）が接地されているかどうかについては、アンテナ工事を実施したアンテナ工事業者にお問い合わせください。

■地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴する場合

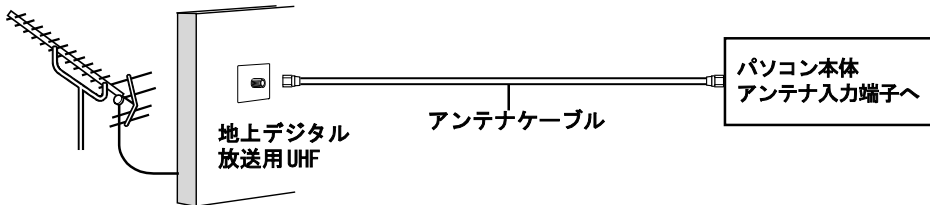
UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）



注：BS・110度CSアンテナに電源を共有する場合の混合器は、電流通過タイプを使用してください。

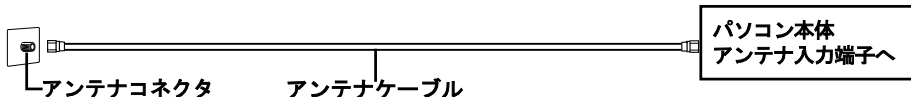
■地上デジタル放送を視聴する場合

UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）



■ケーブルテレビやアパート・マンションなどの共同受信の場合

ケーブルテレビにご加入の場合はケーブルテレビ会社に、アパート・マンションなどの共同受信の場合は、管理会社もしくは管理組合にお問い合わせください。



アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）

BS・110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、BS・110度CSデジタル放送の映像が表示されません。アンテナ電源の供給方法は、お住まいの種類により異なります。

■ケーブルテレビやアパート・マンションなどの共同住宅の場合

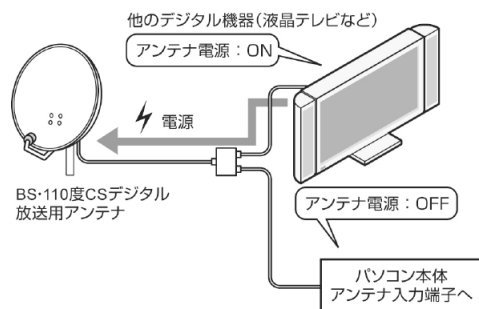
ケーブルテレビや共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。**[メニュー]** を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「OFF」に変更してください。

■一戸建て住宅の場合

他の機器とアンテナを共有している

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、デジタル機器から電源を供給します。

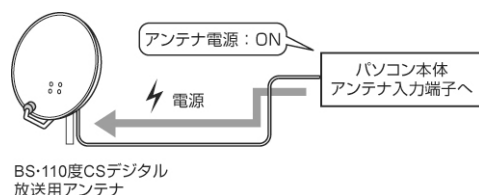
[メニュー] を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「OFF」に変更してください。



他の機器とアンテナを共有していない

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、パソコンから電源を供給します。

[メニュー] を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「ON」に変更してください。



索引

A		し	
AACS キー.....	35	字幕.....	18
B		ジャンル.....	21
B-CAS カード.....	5	受信レベルの確認.....	13
H		そ	
Hybridcast.....	19	操作パネル.....	17
M		た	
miniB-CAS カード.....	6	待機モード.....	17
S		ダビング.....	34
SeeQVault.....	33	ダビング 10.....	34
あ		て	
アンテナケーブル.....	8, 61	データ放送.....	19
アンテナ電源.....	62	データ放送操作パネル.....	19
アンテナ入力端子.....	8	は	
い		番組表.....	20
移動.....	34	ほ	
お		保存先.....	53
おまかせ予約.....	25	む	
音声.....	18	ムーブ.....	34
か		め	
画質.....	52	メディアに書き出す.....	33
カスタム予約.....	24	メディアを再生する.....	39
き		り	
キーワード.....	21	リモコン.....	10, 14
こ		リモコン受光範囲.....	15
コピー制御信号.....	34	ろ	
コピーワンス.....	34	録画.....	22
さ		録画予約.....	23
再生.....	32		

テレビアプリ「DigitalTVbox」の説明書は、PDF ファイルでもご用意しています。ご活用ください。

 ▶ 「PIXELA」 ▶ 「DigitalTVbox 取扱説明書」

テレビ操作ガイド

B5FK-7741-02-00

発行日 2017年1月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しく下さい。

